

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		時折人数が多くなり利用者において場所を移動してもらう事もあるため、今後気を付けていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で定められた定員数である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差はないが、入り口の幅は少し狭いかもしれない。ドアが少し重いが、幼児の飛び出し防止には効果があると思われる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートをもとに業務改善につなげていく予定である。また、集団イベント後に毎回アンケートを取り改善に繋げたり、遠隔支援についてのアンケートを行うことで、家庭でのネット状況を把握し、もしもその時の代替支援手段があることを周知し、体制を整えた。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			このアンケートの結果を昨年度も公開し、今回の結果もホームページにて今後公開する予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていないが、社内での評価を行い業務改善を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社の研修体制が整って来ている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に 1 回アセスメントやモニタリングを行い、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者だけの会議になる時もある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況や様子に応じて対応している。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別で支援している為、長期休暇時や休日は、利用回数の増減、時間変更等にて支援を行っている。また、課題もその都度変更している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		新型コロナウイルスの影響で集団支援が難しい年になったが、なるべく集団の時間(イベントの開催)を設ける様努める。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		役割分担の確認はしているが、支援内容に関する打ち合わせをする時間を取ることが難しく必ずではなかった。支援内容の情報共有を行う様努める。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	大事なことは必ず共有しているが毎日時間は取れていない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		今後支援記録の様式が変わり、チェック機能も付く予定である。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。保護者からの要望に応じて随時行うこともある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		電話で担当者同士の情報共有を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		利用者の様子については、保護者からの要望により小・中学校を訪問し、情報共有を行っているが、行事予定や下校時間等の情報共有は行えていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	何か所かの医療機関は訪問し、連携を取ることが出来る体制を整えているが、該当者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	今年度は保護者の要望がなかったため情報共有は行っていないが、要望に応じて情報共有と相互理解に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在該当する利用者がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携を行い、訪問や研修への参加を行っている。

連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別活動が主であるため実施が難しい。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			定例会には管理責任者が参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の振り返りを通して、事業所での様子を共有し、これからの方針を共に考えていっている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	トレーニングまでは至らないが、保護者の困りごとを聞き、助言や提案をしている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。毎月の領収書請求書発行時に説明をしている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			振り返りの時間や、保護者の要望に応じて出来る範囲で助言と支援を行っている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会は出来ていないが、イベントの際に交流できる場所を提供している。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情についての対応の説明をしている。また、いつでも保護者が話しやすいような対応を心掛け、お会いした時に声を掛けるように努めている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報は発行していないが、ポスター・LINE・ブログ等で発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			書類の持ち出し禁止を徹底するとともに、鍵付き書庫に個人情報を保管している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的な情報を利用し、情報を伝達している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別活動が主な為実施するのが難しい。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時にマニュアル等は保護者に周知し事業所内にも掲示している。毎月の防災訓練の実施を行っている。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員のための訓練は毎月行い、掲示物等で周知しているが、数回利用者も参加した訓練を実施した。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のための社内研修を行い適切な対応の周知に繋げた。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在該当者はいないが、重要事項説明書に掲載し、契約時に説明を行っている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	基本的に食べ物の提供は行っていない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの報告書を適宜作成して、情報共有を行い対応策を考え同じことが起こらないように気を付けている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校 保護者等数（児童数）：44(46)回収数：42 割合：95 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	6	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	4	0	苦手な分野をしてくれるため助かっています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	18	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	42	0	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	38	4	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	23	13	開催しているか知らない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	1	0	学校での出来事を聞いてもらってアドバイスをもらっています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	2	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	22	6	こちらから希望して他の保護者さんとの交流の機会を作ってもらえてうれしかった。状況が状況のため、ない時期と思っている。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34	8	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	13	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	42	0	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	37	5	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	8	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	32	9	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	41	1	0	子どもの誕生日にメッセージを書いたくれたプレゼントを頂いて感動しました。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。